

臨時理事會議事録

令和6年度 第1回

公益財団法人 愛媛県消防協会

2024/05/17

令和6年度 臨時理事会議事録

【日 時】 令和6年5月17日(金) 午後4時43分～午後5時15分

【場 所】 松山市三番町5丁目13番1 えひめ共済会館4階「末広」

【出席者】 理事12名(総数15名)、監事2名(総数3名)

事務局3名、支部幹事3名、会長所属事務1名

理 事：前田正樹、村尾尚登、小林俊則
藤原清久、山内敏男、戸田 基
大西浩司、小笠原貴雄、嘉村重雄
梶田 浩、矢野正祥、河野 通

監 事：益本三郎、渡部政近

事 務 局：近藤正紹、田所慶子、新野涼子

支 部 幹 事：南部卓英、小寺能康、井関剛士

会長所属事務：玉井 公

【議 長】 村尾尚登

【欠席者】 武智邦典、河野忠康、宇都宮憲治

(監事) 坂本讓司

【定足数】 6名

<議 事>

まず、事務局より同日開催された定時評議員会で各支部、消防長会等から推薦された理事・監事全員の選任が可決されたことを報告した。

1. 【第1号議案】 招集手続きの省略の同意について

事務局から下記のとおり説明がなされた。

臨時に理事会を開催し不在の会長及び業務執行理事を選定する必要がある。

定款では理事会は会長が招集することとなっているが、会長不在の時には各理事が理事会を招集するため、新理事による理事会の招集の同意を頂くものである。

事務局が第1号議案を諮ったところ、全員賛成で可決された。

規定に定める議事定足数(過半数)に達しており、本会議が成立することが宣言された。

2. 【第 2 号議案】 仮議長の選出について

事務局から議長選出は事務局に一任となったので、消防長会 村尾 尚登理事を推薦し、第 2 号議案を諮ったところ、異議なく可決された。

3. 【第 3 号議案】 会長の選定について

事務局から、定時評議員会で選定された理事の中から選定される説明がなされた。

中予支部 嘉村 重雄理事より、大西 浩司理事を代表理事として推挙したい旨の発言があったため、議長がこれを諮ったところ、大西理事を除く理事全員が異議なくこれを可決、大西理事もこれを承諾した。

あいさつ>災害はいつでもどこでも発生するということを深く認識し、えひめ消防が一丸となって取り組んでいく。人と人とのつながりを強化していくこと、協会に対する理解をいただきながら一緒に発展していきたい。

4. 【第 4 号議案】 副会長の選定について

事務局から定時評議員会で選定された理事の中から、副会長 3 名を選定するが、副会長（業務執行理事）は、東予、中予、南予の各支部長を担当するため、それぞれの支部単位での選定をお願いするとの説明がなされた。

東予支部 藤原 清久理事より戸田 基理事を業務執行理事（東予支部長）として推挙したい旨の発言があったため、議長がこれを諮ったところ、戸田理事を除く理事全員が異議なくこれを可決、戸田理事もこれを承諾した。

中予支部 小笠原 貴雄理事より嘉村 重雄理事を業務執行理事（中予支部長）として推挙したい旨の発言があったため、議長がこれを諮ったところ、嘉村理事を除く理事全員が異議なくこれを可決、嘉村理事もこれを承諾した。

南予支部 矢野 正祥理事より梶田 浩理事を業務執行理事（南予支部長）として推挙したい旨の発言があったため、議長がこれを諮ったところ、梶田理事を除く理事全員が異議なくこれを可決、梶田理事もこれを承諾した。

村尾 尚登氏は、本日の議事がすべて終了したので午後 4 時 54 分議長の席を降りた。

5. 諸般の報告

事務局から下記のとおり報告がなされた。

1. 令和 6 年度事業計画及び収支予算について
2. 愛媛県委託事業 女性消防団員確保対策事業について
3. 協会事務所の耐震診断結果報告について
 - ・コンクリートの中性化はあまり進行しておらず比較的経年劣化は進展していないとの認識。（強度は充分である）

- ・建物の1階、2階それぞれで東西方向と南北方向で、法令で求められる構造耐震指標IS値(0.6以上が必要)を求めた場合、2階部分の南北方向と東西方向、1階部分の東西方向は基準値を満たしているが、1階部分の南北方向については、基準値を満たしていないことが判明。
 - ・2階側は強度的に大丈夫だが、事務所側は、壁と開口部のバランスが悪く、「平面バランスが悪く西側柱に悪影響が出て柱が崩壊」との診断結果が示された。
 - ・1階事務所の西側壁面の強度を落とし建物全体の応力を均一化するためのスリットを施工することが提案された。
 - ・スリット施工(壁体の強度を落とすためにコンクリートの壁に切り込みを入れるもの)による耐震改修工事費として、概算で100万円との見積りが示された。
 - ・現建物の耐震化や長寿命化を進めたいうえで、将来にわたり長く使い続けることが有用な選択肢になると考える。
 - ・職員の安全と健康に関わる耐震化とアスベスト対策とともに、外壁塗装や防水など経年劣化対策、腐食老朽化した給水配管や空調等の設備改修等について、改修方法や経費を精査し、今年度の早い段階において、これまでの「大規模改修」を一步進めた「耐震改修」を前提とした「長寿命化」を選択肢に加え、実施設計委託を視野に入れた協議を開始したいと考えている。
4. 消防団相互応援協定に基づく合同訓練について
今年度からの新たな取り組みとして、様々なやり方が考えられるが、県下20市町消防団による合同訓練という点にこだわり進めていきたい。
5. 会長・副会長の選任に関する事業について 広く人材を集める方法の検討
- ・副会長職については、できれば支部輪番を廃止し、協会運営や理事会に1年以上参加した方に就任いただくのが望ましいと考えるが、東予、南予どちらも輪番制の廃止は困難であるとの認識。
 - ・会長、副会長職については、協会の事業についても長期間継続して取り組んでいただきたいため、広く県下全域から人材を登用できる体制を整えるため、東予、南予の輪番制を考慮したうえで、組織体制や事務手続き等について検討に着手したい。
 - ・役員だけでなく、市町事務担当の協力を得ながら、理事会等での体制や手続きについて協議を進めたい。

事務局長が午後5時14分閉会を宣した。

本理事会の議事の経過の要領及び結果が正確であることを証するため、議事録を作成し、選任された会長と監事はこれに署名捺印する。

令和6年5月27日

公益財団法人 愛媛県消防協会

捨印

代表理事

大西 浩司

⑩

⑩

監 事

益本 三郎

⑩

⑩

監 事

渡部 政近

⑩

⑩